

2024年6月15日 於：ローズワム  
Work Shop 開催 海外からのゲストに日本文化紹介

IINは6月15日、日本文化を海外からのゲストと共に体験して楽しんでもらうワークショップをローズワムで開催しました。新型コロナウイルス「5類」移行直後の昨年とは違い、規模を拡張して、書道、着物、日本の遊び、煎茶の4班に分かれて入念に準備し、ゲストをお迎えしました。そこには乳幼児を含め、30人近いお客様が訪れ、とても賑やかなワークショップとなり、IINの会員共にとっても楽しみました。



### 書道班

ワークショップ書道の準備は「参加20人超え？子どもさんもいる？時間は40分？そんなの無理～」という悲鳴で始まりました。しかし全体調整で書道に50分頂けたこと、2部制にしたこと、机やホワイトボードの配置、物品の置き方、説明の簡素化、詳細な時間設定など、今までの経験を踏まえた段取りにより、当日は30人近い参加者全員が、筆の持ち方、運筆、色紙に好きな漢字を清書、仕上げの落款までを時間内にやり遂げました。



昨年同様、抜群のチームワーク、フットワークに加え、書道担当外からも強力な助っ人があったのも今回のスムーズな運営につながったと思われます。IINの底力を感じます。



「来年は、  
打ち合わせの時に私たちも書道しようよ！」  
という声があります。筆を目の前にとつ  
い書きたくなるのは、書道が私たちに染み付  
いた文化だからですね。ボランティアはまず  
自分が楽しむことから！！来年はワーク  
ショップ前に私たちが書道の楽しさを実感し  
たいと考えています。

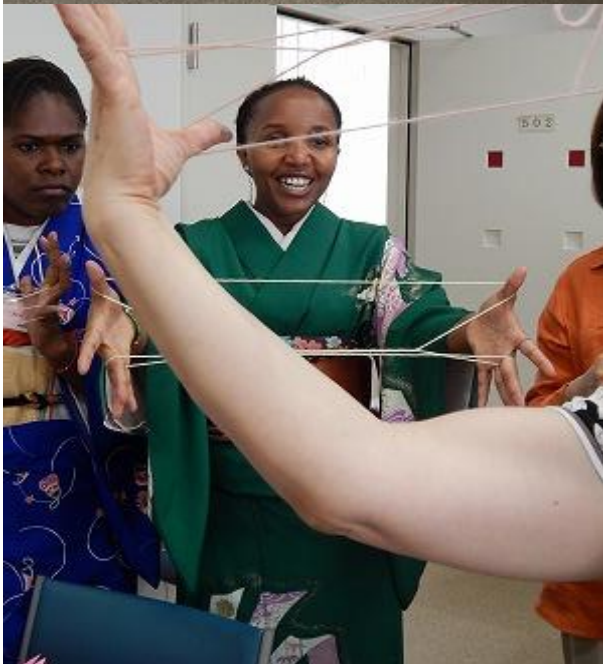


## 日本の遊び班

遊び班は「けん玉・だるま落とし等」「かるた」「紙飛行機」のグループに分かれ、準備万端で始まりを待ちました。今年のWorkshopは、時間配分の影響で最初から最後まで遊び班にゲストが来られるという嬉しい悲鳴の2時間でしたが、受け入れの私達も若い大学生のNさんを擁して対応しました。

けん玉の指導では、膝を使った柔らかいタッチを教えると出来るようになる方が続出。初めてのダルマ落としではラオスのゲストがパンパンパンと三連発でダルマ落とし大成功。「友達とやったよ」とキルギスのゲストが担当三人と上手にあやとりをする嬉しい交流。かるた担当の長老からは「ずっとゲストが来てくれて嬉しい時間があつという間過ぎました。来年は『いろはがるた』もしたい。」との意欲的な感想。紙飛行機ではゲスト全員がグループに分かれて、最後に思いっきり飛ばしてそれまでの練習の成果をご披露。素敵な写真が撮れたのでは？

「国際交流」という不思議な力と担当の皆さんのご協力で遣りきることができ、安堵と満足の日でした。



## 着つけ班

お習字が終わったゲストから別室に移動して頂き、お子様には甚平さんや浴衣、女性には小紋の着物、男性には浴衣を着ていただきました。どなたも着物には興味津々、別室への移動中もわくわく感が伝わってくる感じでした。いつもでしたら、二人一組で着付けをするのですが、今回はとても人数が多く、一対一で臨むことになりました。私たちもとても緊張して迎えた瞬間でしたが、普段から着付けの練習をしていたことが功を奏し、何とか予定の時間内に着せて差し上げる事ができ、一同ホットいたしました。色鮮やかな着物がとてもよくお似合いで、弾むような笑顔のパワーは私たちに癒しや喜びをもたらしてくれました。生き生きとしたお声や後から頂いた感想などを拝読し、私たちのパワーの源になっています。今後ともお稽古に励んで、次回もゲストの喜ばれるお顔、言葉に触れられます様に、着付けグループ丸となって頑張ります！

## 煎茶班

担当メンバーは初めての経験で戸惑いもありましたが、事前準備と当日のチームワークが良く、ゲストの皆様にも大変喜んでいただけました。

お点前を真剣な眼差しで見守られたり、動画に収められたりする様子を見て、日本のお茶の楽しみ方に触れていただけたのではないかと感じます。

懐紙に季節のお菓子「水無月」を添え、青紅葉を飾ったことも、ゲストにとって印象に残る瞬間だったと思います。

時間の制約でお菓子やお茶の精神についての説明ができなかったのが残念でしたが、次回はぜひ行いたいと思います。

云々の皆様に七ひここの休息を楽しんでいかにするよつ、「お休み処」じお菓子こお余をご用意しました。私たち日本人にとっても、美味しいお煎茶の頂き方を学ぶ良い機会とったのでは、

喧騒の中でほっこりとした空間を作り出した煎茶コーナーでした。

